【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和5年6月1日(2023.6.1)

【公開番号】特開2022-171946(P2022-171946A)
【公開日】令和4年11月11日(2022.11.11)
【年通号数】公開公報(特許)2022-208
【出願番号】特願2022-150552(P2022-150552)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ 13/02(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　7/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ 13/02　　Ｂ
Ｂ６０Ｒ　7/04　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月23日(2023.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両用のドアのドアライニングであって、乗員の腕を支えるアームレストが配置されたドアライニング本体と、前記ドアライニング本体に取り付けられたドアライニング化粧板を備え、
前記ドアライニング化粧板は、本体部と、本体部を覆う表皮部材と、を備え、
前記表皮部材は、第１部位と、第１部位の上に重なった第２部位を有し、
前記第２部位の少なくとも一部は、前記ドアライニング化粧板の上下方向における中央より上に位置し、
前記第２部位は、車両の左右方向における位置が前記アームレストと重なることを特徴とするドアライニング。
【請求項２】
前記ドアライニング化粧板は、車室内に向けて凸となるように屈曲する屈曲部を備え、前記屈曲部は、上下方向において、前記第２部位と、前記アームレストと、の間に位置することを特徴とする請求項１に記載のドアライニング。
【請求項３】
前記表皮部材は、前記第１部位と前記第２部位の間に開口を有して物入れを構成することを特徴とする請求項１または請求項２に記載のドアライニング。
【請求項４】
前記表皮部材は、前記第１部位と前記第２部位の間に位置する底部を有し、
前記第１部位および前記第２部位は、前記物入れに物が入っていない状態で前記底部よりも前記開口が広いＶ字型の断面を形成していることを特徴とする請求項３に記載のドアライニング。
【請求項５】
前記開口は、車両後方にいくほど下に位置するように傾斜して配置されていることを特徴とする請求項３または請求項４に記載のドアライニング。
【請求項６】
前記表皮部材は、前記第２部位の前記開口を構成する縁と前記第１部位を繋ぎ、前記第１

部位および前記第２部位と重なる第３部位を有し、
　前記第１部位、前記第２部位および前記第３部位は、１枚の部材からなり、
　前記第１部位は、前記第２部位の上端より上まで延び、
　前記第２部位は、前記第１部位の下端より下まで延びていることを特徴とする請求項３から請求項５のいずれか１項に記載のドアライニング。
【請求項７】
　前記ドアライニングは、上側に開いたドアポケットを有し、
　前記第２部位の一部は、車両の左右方向における位置が、前記ドアポケットと重なることを特徴とする請求項１から請求項６のいずれか１項に記載のドアライニング。
【請求項８】
　前記ドアライニングは、ドアインナーハンドル装着部を備え、
　前記表皮部材は、前記第１部位と前記第２部位の間に位置する底部を有し、
　前記底部は、前記ドアインナーハンドル装着部の下端よりも上に位置することを特徴とする請求項３に記載のドアライニング。
【請求項９】
　前記ドアライニング化粧板は、前記アームレストより上に配置され、かつ、前記アームレストから所定距離離れて位置することを特徴とする請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のドアライニング。
【請求項１０】
　前記ドアライニング化粧板は、前記ドアライニング本体に対して着脱可能であることを特徴とする請求項１から請求項９のいずれか１項に記載のドアライニング。